

ヒューマンインタフェースシンポジウム
**Human
Interface
2018**
TRANSBORDER

ヒューマンインタフェースシンポジウム 2018 2018年9月5日(水)～9月7日(金) 筑波大学



トランスボーダー

ヒューマンインタフェース学会は、人と人工物のインタラクションに関する学際的な研究を促進する場として平成11年に設立されました。そして、ヒューマンインタフェースシンポジウムは、様々な分野の研究者が集まり、互いに刺激し合い、学び合う場となっています。しかし、設立から20年近く経過するうちに、いくつかのボーダーができつつあるように思います。1つは研究分野のボーダーです。情報技術や製造技術の急速な発達によって、新たな研究分野がいくつも生まれています。しかし、こうした急速な拡大に追いついていくことはなかなか大変です。もう1つは共同のボーダーです。学会には様々な分野の研究者が集まりますが、そうした研究者が実際に共同研究をすることは容易ではありません。さらに気になるのは国際化のボーダーです。シンポジウムでは優れた研究が発表されているのに、世界には知られていない研究が多いようです。本シンポジウムはこうしたボーダーを乗り越えるきっかけになることを目指しています。

開催場所は筑波大学キャンパスです。シンポジウムに参加して刺激を受けたり、約2600平米の広大なキャンパスを散策しながら、新たな研究の構想を練ってみたりするのはいかがでしょうか。皆様のご参加をお待ちしております。

葛岡 英明 (筑波大学)

■主催：特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会

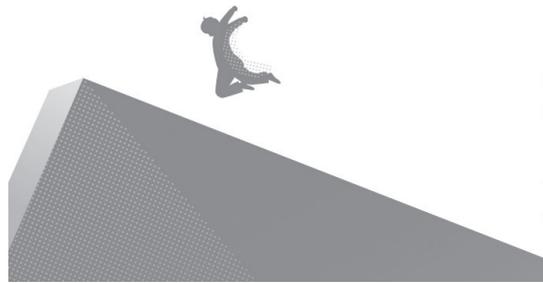
■共催：筑波大学

■後援：筑波技術大学

■協賛学会

映像情報メディア学会、応用物理学会、教育システム情報学会、計測自動制御学会、システム制御情報学会、自動車技術会、情報処理学会、照明学会、人工知能学会、シンビオ社会研究会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本VR医学会、日本応用数理学会、日本顔学会、日本化学会、日本感性工学会、日本機械学会、日本原子力学会、日本建築学会、日本航空宇宙学会、日本色彩学会、日本手話学会、日本神経回路学会、日本生活支援工学会、日本生体医工学会、日本ソフトウェア科学会、日本知能情報ファジィ学会、日本デザイン学会、日本人間工学会、日本バーチャルリアリティ学会、日本リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション工学協会、日本ロボット学会、バイオメカニズム学会、モバイル学会

公益財団法人つくば科学万博記念財団助成事業



■日程表

9/5
 受付開始・開場 9:00

10:00 ~ 11:20

13:00 ~ 14:40

15:00 ~ 16:30

17:00 ~ 18:30

A会場
 (3A203)

5A1 コミュニケーション
 支援1

講習会 コース2

A会場
 (3A203)

ワークショップ1

B会場
 (3A209)

5B1 感覚・知覚1

5B2 情報×デザイン

講習会 コース4

B会場
 (3A209)

ワークショップ2

C会場
 (3B202)

5C1 インタフェース
 デザイン1

5C2 感覚・知覚2

講習会 コース3

C会場
 (3B202)

ワークショップ3

D会場
 (3B203)

5D1 障がい者・
 高齢者支援1

5D2 学習・教育支援1

講習会 コース1

D会場
 (3B203)

ワークショップ4

E会場
 (3B208)

ワークショップ5

9/6
 受付開始・開場 8:00

9:00 ~ 10:20

10:35 ~ 11:55

13:00 ~ 14:40

15:00 ~ 15:10

15:10 ~ 16:10

16:10 ~ 16:50

18:00 ~ 20:00

6A1 VR・AR・3D1

6A2 インタフェース
 デザイン2

対話発表 (会場: デモ: 3A202・3A213・3A214 / ポスター: 3B204・3B210)

企業展示アピールタイム (会場: 3A204)

特別講演 (会場: 3A204)

対話発表優秀プレゼンテーション賞発表・2019年シンポジウム予告 (会場: 3A204)

イブニングセッション (会場: オークラフロンティアホテルつくば)

6B1 コミュニケーション
 支援2

6B2 VR・AR・3D2

6C1 ユーザ行動1

6C2 交通・安全

6D1 障がい者・
 高齢者支援2

6D2 ユーザ行動2

9/7
 受付開始・開場 8:30

9:00 ~ 10:20

10:35 ~ 11:55

13:00 ~ 14:00

14:20 ~ 15:40

16:00 ~ 16:20

7A1 入出力デバイス

7A2 AI

7A3 ロボット
 エージェント

7B1 医療・リハビリ1

7B2 生理・心理2

7B3 コミュニケーション
 支援3

7C1 生理・心理1

7C2 医療・リハビリ2

7C3 身体的
 インタラクション

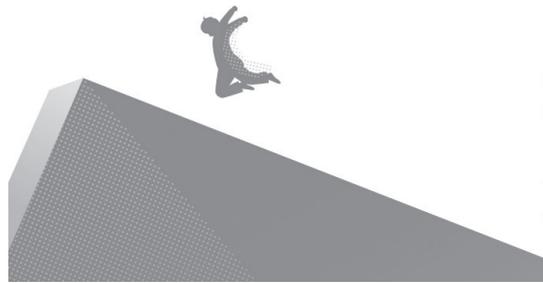
7D1 障がい者・
 高齢者支援3

7D2 学習・教育支援2

7D3 住まい・生活

トップカンファレンス (会場: A会場 3A203)

クロージングセッション (会場: 3B210)



● 9月5日（水）

■ 講習会

コース 1 (15:00 ~ 16:30)

「はじめての機械学習」

コース 2 (15:00 ~ 16:30)

「人を対象とする研究倫理の最新動向：

新倫理指針と人間工学倫理指針のポイント」

コース 3 (15:00 ~ 16:30)

「モビリティとインフラのスマート化（スマートシェアードスペース）」

コース 4 (15:00 ~ 16:30)

「Understand stats, know thy results:

統計モデルを用いた HCI 実験の解析事例紹介」

■ コース 1

「はじめての機械学習」

(15:00 ~ 16:30 D会場 3B203)

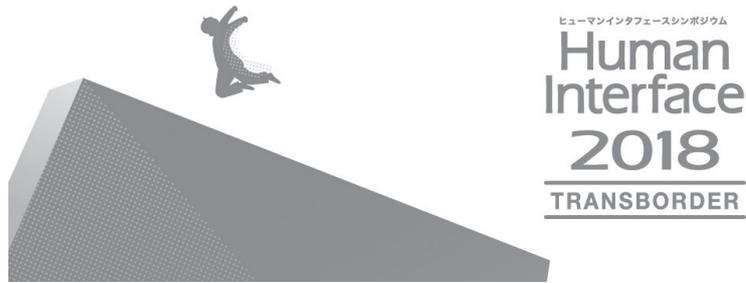
昨今では機械学習手法を用いたインタフェース改善やデータ分析が盛んになっている。本講習会では、これから機械学習をためしてみようとする HCI 研究者・技術者に必要な機械学習の基礎を講述する。機械学習を効果的に使うためには、まずやりたいことを明確にしたうえで、データを観察し、特徴をとらえ、アルゴリズムを選択するというステップをおさえることが重要である。本講演では、人-機械-系における講演者らの研究事例についても少し触れながら、機械学習の基本的なステップを概説する。

オーガナイザ：大澤 博隆（筑波大学）

講師：澁谷 長史（筑波大学）

略歴：2010年横浜国立大学大学院工学府博士課程後期修了。2007年より日本学術振興会特別研究員。2010年より筑波大学大学院システム情報工学研究科助教。現在、筑波大学システム情報系助教。現在に至る。博士（工学）。

専門分野：機械学習、強化学習



■コース 2

「人を対象とする研究倫理の最新動向：

新倫理指針と人間工学倫理指針のポイント」

(15:00 ~ 16:30 A会場 3A203)

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（新倫理指針）」が2014年12月に告示された後、個人情報の保護に関する法律等の改正に伴い、2017年5月30日より改正新倫理指針が施行されている。また日本人間工学会の「人間工学研究のための倫理指針」も制定後8年が経過し、現在同学会で改訂作業が進められている。講座では人に関わるライフサイエンス研究と密接に関連するそれら指針の概略や配慮すべき事項を概説する。

オーガナイザ：福住 伸一（理化学研究所）

講師：榎原 毅（名古屋市立大学大学院 医学研究科）

略歴：2005年3月名古屋市立大学大学院医学研究科満期退学、博士（医学）（名古屋市立大学論第1512号）。同年、同学労働生活・環境保健学分野助手、助教を経て、2009年から環境労働衛生学分野講師。（一社）日本人間工学会副理事長（2016-）、同学会改革・戦略委員会委員長（2016-）、人間工学誌編集委員会副委員長（2012-）、国際標準化機構ISO/TC159（人間工学）国内対策委員会SC3分科会委員長（主査、2012-）、日本産業衛生学会代議員・東海地方会理事（2007-）、Journal of Occupational Health: Ergonomics 領域委員長（Field Editor, 2016-）ほか。

専門分野：産業保健人間工学、ビッグデータを利用したライフログ解析の産業保健応用、産業人間工学のメタアナリシス、生物疫学統計ほか。

■コース 3

「モビリティとインフラのスマート化

（スマートシェアードスペース）」

(15:00 ~ 16:30 C会場 3B202)

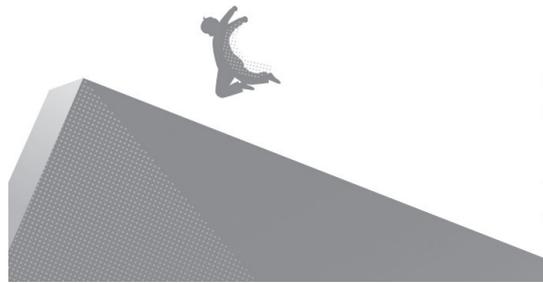
1億総活躍社会を目指し、高齢者や障害者を含むすべての人々が自由に移動できる端末公共交通システムが求められている。移動体としては、低速自動走行機能をもつ小型電動車両を新規に開発し、運行コストと環境負荷を低減する。走行環境としては生活圏内における利便性を考慮し、歩車融合空間（シェアードスペース）にヒントを得ながら快適で安全な移動空間構築に向けた研究を進めている。本講習では、最新の情報化技術を活用した歩・車・インフラのトランスボーダーな知能化の取組みについて紹介する。

オーガナイザ：矢野 博明（筑波大学）

講師：川本 雅之（筑波大学）

略歴：1982年東京工業大学理工学研究科情報工学専攻修士課程修了。同年トヨタ自動車工業（株）入社、トヨタテクニカルセンターUSA、トヨタ自動車技術統括部を経て、2015年より筑波大学教授。2014年より内閣府戦略的イノベーション創造プログラム「自動走行システム」構成員 次世代都市交通システムWG副主査（2015年-）。2017年（株）アイ・モビリティプラットフォームを設立。

専門分野：公共交通システム、交通工学



■コース 4

「Understand stats, know thy results:

統計モデルを用いた HCI 実験の解析事例紹介」

(15:00 ~ 16:30 B会場 3A209)

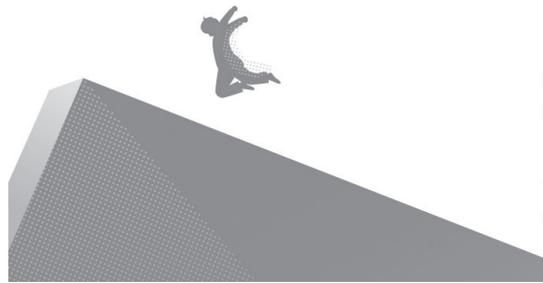
HCI 研究における実験結果の分析には仮説検定が伝統的によく用いられてきた。しかし、近年では様々な統計ツールが利用可能となり、多様な分析が手軽に行えるようになっている。本講習会では、HCI 研究における実験結果の解析をより深める上で有用かつ簡便に利用できる。仮説検定における効果量、回帰分析、クラスタリング手法を事例を交えながら紹介し、受講者とともに今後の分析のあり方について議論する。本講習会では R を用いた分析例も紹介する予定である。

オーガナイザ：高嶋 和毅（東北大学）

講師：矢谷 浩司（東京大学）

略 歴：東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻准教授。同大学大学院学際情報学府先端表現情報学コース兼任。平成 29 年度東京大学卓越研究員採択。同大学にてインタラクティブ・インテリジェント・システム ラボ (<http://iis-lab.org>) を率いる。生体認証と生体センシングを組み合わせたセキュリティシステム、生産性・創造性支援、ユーザの行動変容を促すインタラクティブシステムを重点的研究課題としながら、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション分野の幅広い研究に従事。2011 年にカナダ、トロント大学より博士号（コンピュータ科学）を取得。

専門分野：ユビキタスコンピューティング、センシング技術



■ワークショップ

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| WS1 「人を対象とする研究倫理を考える」 | (17:00 ~ 18:30) |
| WS2 「ワークプレイスの知的生産性と創造性」 | (17:00 ~ 18:30) |
| WS3 「オープンソースの考え方に倣う実験環境を公開・共有する意義」 | (17:00 ~ 18:30) |
| WS4 「ICT 農業とコミュニケーション」 | (17:00 ~ 18:30) |
| WS5 「ハードウェアと戯れるワークショップ」 | (17:00 ~ 18:30) |

■ワークショップ 1 (17:00 ~ 18:30 A会場 3A203)

「人を対象とする研究倫理を考える」

企画：福住 伸一（理化学研究所）

近年、人を対象とする研究に対する倫理的配慮の考えが浸透してきている。これは当然被験者／実験参加者保護の観点からは重要であるが、一方で、どこまでやればいいのか、といった目標が見えにくいため、必要性が薄れていたり、形骸化したりする可能性も出てきている。そこで、本ワークショップでは、HI学会研究倫理WGや人間工学会研究倫理委員会といった関連するコミュニティの方々にお集まりいただき、研究倫理WGで作成した事例を紹介しつつ、研究倫理の考え方やあり方、取り組み方などについて、意見交換を行いたいと考えております。将来的には、既存の研究倫理指針をどう解釈し、具体的にどう運用していくのか、といったガイドにつなげられれば、と考えております。また、人工知能との関係についても議論できるように工夫していきます。研究倫理に関心があるかた、気にはなっているけどどうしていいのかわからない方、いまさら聞けない、ということではないので、ぜひ、ご参加ください。

■ワークショップ 2 (17:00 ~ 18:30 B会場 3A209)

「ワークプレイスの知的生産性と創造性」

企画：下田 宏（京都大学）／藤田 欣也（東京農工大学）

少子高齢化を迎え、限られた人材や多様な労働環境の中で社会を維持発展させていくためには、これまで以上の知的生産性や創造性を実現していくことが求められます。そこで、本WSでは、オフィスを中心にワークプレイスにおける知的生産性や創造性とは何かという基本的な問いから始めて、知的生産や創造性を高める要因や支援技術の可能性などを、学術や産業など多様な立場や視点から議論することを目的とします。当日参加も可能ですが、有意義な議論をできるように、できるだけ事前参加登録への御協力を御願います（参加登録ページ：<https://goo.gl/3UbbfK>）。本WSでの議論を基盤とした研究会の発足も考えていますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

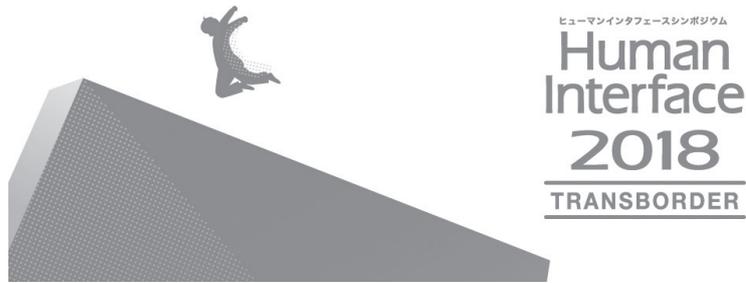
■ワークショップ 3 (17:00 ~ 18:30 C会場 3B202)

「オープンソースの考え方に倣う実験環境を

公開・共有する意義」

企画：HI若手の会（HIST）／福森 聡（関西学院大学）

現在の、HIの研究では人を対象としてシステムを開発する研究が主流であり、公開する情報は論文のみという場合が主流です。一方、情報系の他分野では、論文と合わせて実験で使用したプログラムのソースコードも公開・共有されつつあります。ところが、人を対象としたシステムの研究では、計算機だけで実験が完結しないばかりか、実験手順が複雑になるためにソースコードの公開・共有では再現性は高まらないかもしれません。



そこで本ワークショップでは、人を対象かつプログラムを使った実験の再現性やソースコードの公開・共有について2つの観点で議論します。

1つは、ソースコードを公開したときどのような利益を享受でき、どのような不利益を被るのかについてであり、2つ目は、どのように実験に関する実験環境や手順の情報を公開すべきであるかについての議論です。また議論の他に、GitHubなどのソースコードのバージョン管理用サービスの使用例なども紹介しますので、このようなサービスに興味がある方もぜひご参加ください。

■ワークショップ4 (17:00～18:30 D会場 3B203)

「ICT 農業とコミュニケーション」

企画：コミュニケーション支援専門研究委員会 (SIGCE)

日本では農業就業人口の減少と農業従事者の高齢化が進んでおり、農業における革新的な変化が期待されている。特に、ICTやIoT、AIに対する期待は大きく、後継者確保とともに生産性の向上が望まれる。一方で、食育や食の安全に対する消費者の関心も高く、農業が農家と地域住民とのコミュニケーション手段を提供している点も興味深い。したがって、農業の衰退は食料問題だけでなく、地域におけるコミュニケーションの問題にも大きく影響を与える。また、農具や農業機械、営農管理システムなどに目を向ければ、ヒューマンインタフェースとしての問題が顕になる。ヒューマンインタフェース学会ではあまり馴染みのない「農業」に関するテーマであるが、その根底には農具と人間、人間と人間との関わりをはじめとする「インタフェース」に深く関わる課題が内在しており、本ワークショップでは工学的な立場から農業研究を実践する研究者を交えて、新たな研究の切り口やテーマ、アイデアが生まれる可能性を探ってみたい。

話題提供予定者：小林 一樹 (信州大学)、朱 成敏 (NII 特任研究員)

■ワークショップ5 (17:00～18:30 E会場 3B208)

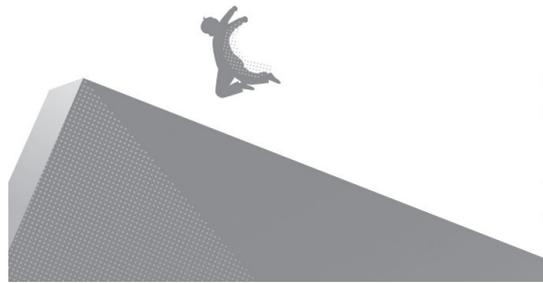
「ハードウェアと戯れるワークショップ」

企画：小林 真 (筑波技術大学 / SIGACI)

アクセシブル・インタフェース専門研究委員会 (SIGACI) のワークショップは今年もハードウェア初心者の学生さん対象、プチものづくり系です。Arduinoを使って簡単な工作をすることを予定しています。これまでハードウェアに興味はあったけれど一歩が踏み出せなかったあなたの背中を押す企画です。今はSIGACIにはほぼ興味がない方でもウェルカムです。

パソコンはご持参ください。事前にArduinoのインストールだけしておいて頂きます。また、材料に限りがあるため、先着5名の予定です。

※ 先着5名、事前に小林までメール (koba@cs.k.tsukuba-tech.ac.jp) で「HI2018のSIGACIワークショップ参加希望」という件名にてご連絡ください。人数に達し次第締め切ります。



● 9月5日 (水)

■一般発表 (30件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

● 9月6日 (木)

■特別講演 (15:10～16:10 3A204)

「表現のためのインタフェース」

宮下 芳明 (明治大学)



宮下研究室 (<http://miyashita.com>) ではこれまで11年間、音楽、CG、3Dプリンタのためのシステム、ステアリングタスクのモデル化から味覚メディアまで、専門分野にとらわれずに研究を推進してきました。その活動のおかげで、学内では専任教員を8割新規増員してHCIの研究教育拠点であるFMS学科を立ち上げることができました。

分野を横断することは、一見大変なことに思えますが、ある分野で「常識」になっているフィロソフィーを他分野に適用するだけで新領域を切り拓いちゃうこともありますし、学生の興味を活かしてモチベーションを高められるなど、実はたくさんメリットがあります。どうすればそういったことができるのか、裏話も含めてそのコツを話せればと思っています。

■一般発表 (32件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■対話発表 (64件)

(13:00～14:40 デモ: 3A202・3A213・3A214 ポスター: 3B204・3B210)

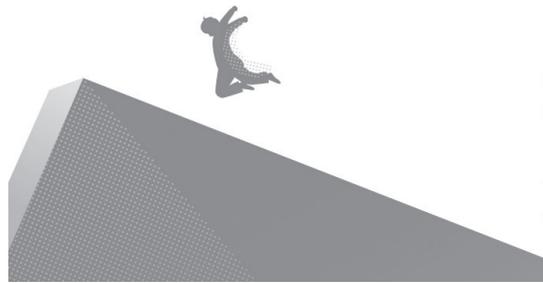
発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■企業展示アピールタイム (15:00～15:10 3A204)

■対話発表優秀プレゼンテーション賞発表

2019年シンポジウム予告 (16:10～16:50 3A204)

■イブニングセッション (18:00～20:00 オークラフロンティアホテルつくば)



ヒューマンインタフェースシンポジウム
**Human
Interface
2018**
TRANSBORDER

● 9月7日 (金)

■ 一般発表 (42 件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■ トップカンファレンス (13:00 ~ 14:00 A会場 3A203)

トップカンファレンスに積極的に成果を発表している若手研究者の小山裕己氏(産業技術総合研究所)と大槻麻衣氏(筑波大学)のお二人に、厳しい査読を乗り越えて採択された研究の内容と、採択のための勘所、トップカンファレンスの魅力についてお話しいただきます。質疑の時間も設けますので、講演者からできるだけ多くの知見を引き出して、皆様が世界に飛び出すきっかけにさせていただくことを期待します。

■ クロージングセッション (16:00 ~ 16:20 3B210)



5日 一般発表

A会場 (3A203)	B会場 (3A209)
5A1 コミュニケーション支援 1 10:00 ~ 11:00 谷川 由紀子 (NEC)	5B1 感覚・知覚 1 10:00 ~ 11:20 森川 治 (山口大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 5A1-1 キャンセル • 5A1-2 独立した音楽視聴時の会話を円滑化手法の検討 大野 直紀, 中村 聡史 (明治大学) • 5A1-3 キャンセル • 5A1-4 動画視聴時における自己の表情アバタの提示が笑いの表出に及ぼす影響 平島 健大, 大久保 雅史 (同志社大学) • 5A1-5 テレプレゼンスロボットを使用した会話チャンネル維持方法の検討 大藤 聖菜, 唄野 太一, 今井 倫太 (慶應義塾大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 5B1-1 VR シューティングゲーム中の脳活動計測 横田 悠右, 成瀬 康 (情報通信研究機構) • 5B1-2 インタラクションにおける認知負荷に対する瞳孔反応の研究 大澤 理恵, 盆子原 直己, 白山 晋 (東京大学) • 5B1-3 物体をタップする手段が硬さ知覚に及ぼす影響 齋藤 靖之, 只野 耕太郎 (東京工業大学) • 5B1-4 学習におけるデジタルペンの使用の効果 - 脳波を指標とした検討 - 井原 綾, 中島 加恵, 大杉 清之 (情報通信研究機構) 掛 晃幸, 石丸 築 (ワコム) 横田 悠右, 成瀬 康 (情報通信研究機構) • 5B1-5 キャンセル
昼休み 11:20 ~ 13:00	
	5B2 情報 × デザイン 13:00 ~ 14:40 安藤 昌也 (千葉工業大学)
	<ul style="list-style-type: none"> • 5B2-1 デジタルサイネージコンテンツに対するユーザの読み方の違いの検討 渡辺 昌洋, 寺中 晶都, 望月 理香, 齋藤 俊英, 森西 優次 中濱 清志 (NTT) • 5B2-2 心理尺度と TAM を組み合わせた新技術受容調査 浦川 颯希 (上智大学), 塩瀬 隆之 (京都大学) 小林 大祐 (GoodJob! センター香芝), 矢入 郁子 (上智大学) • 5B2-3 イラストのペイント技法が絵本の選択に与える影響 池下 花恵, 竹内 沙耶伽 (相模女子大学) • 5B2-4 アクティブラーニングの全学的推進と BAL システム 中嶋 克成, 寺田 篤史, 河田 正樹, 岡野 啓介 (徳山大学) • 5B2-5 GMMCP を用いた追跡映像からの注目人物の動画編集機能 西川 由理 (産業技術総合研究所 / パナソニック) 小澤 順 (産業技術総合研究所)



C 会場 (3B202)	D 会場 (3B203)
<p>5C1 インタフェースデザイン 1 10:00 ~ 11:20 椎尾 一郎 (お茶の水女子大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 5C1-1 操作画面の視覚的な触感と操作性との関係 坂本 牧葉 (岐阜市立女子短期大学) • 5C1-2 キャンセル • 5C1-3 SF 映画による VUI デザインに関する知見導出アプローチ 金子 真澄, 小原 英莉, 高森 千恵子, 山浦 美輪, 安藤 幸央 長谷川 健一, 飯塚 重善 (HCD-Net) • 5C1-4 航空管制レーダ画面の設計支援ツールの開発 中村 陽一, 青山 久枝 (海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所) 狩川 大輔 (東北大学) • 5C1-5 なぜ AI スピーカからの発話はよそよそしいのか? - 親近感を生み出す「あれ」の役割 板敷 尚, 西脇 裕作, 長谷川 孔明, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) 	<p>5D1 障がい者・高齢者支援 1 10:00 ~ 11:20 土井 幸輝 (国立特別支援教育総合研究所)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 5D1-1 在宅での病態監視を目的とした無拘束呼吸パターン計測 今野 稚奈, 宮原 寛和, 亀山 研一 (帝人ファーマ) • 5D1-2 キャンセル • 5D1-3 読み書き困難のある児童生徒への ICT 機器等支援機器選定・活用のための指標 (FIAT-LD) の研究 山下 祥代, 石丸 利恵, 伊勢本 大, 八木 良広, 荻田 知則 (愛媛大学) • 5D1-4 ADHD 児の行動抑制に対する動的な視覚刺激の効果 金山 周平, 縄手 雅彦, 伊藤 史人 (島根大学) • 5D1-5 自閉症スペクトラム障害児を対象とする追従行動のリアルタイムフィードバック手法の検討 辻 愛里 (筑波大学), 関根 悟 (慶應義塾大学) 松田 壮一郎 (筑波大学), 山本 淳一 (慶應義塾大学) 鈴木 健嗣 (筑波大学)
<p>昼休み 11:20 ~ 13:00</p>	
<p>5C2 感覚・知覚 2 13:00 ~ 14:40 大久保 雅史 (同志社大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 5C2-1 嗅覚刺激は VR 型体外離脱体験を引き起こす 阿部 寧, 大良 宏樹, 三宅 美博 (東京工業大学) • 5C2-2 コンシューマゲーム中におけるプレイヤーの熟練度に関連する脳波成分 大杉 清之 (大阪大学 / 情報通信研究機構) 横田 悠右, 成瀬 康 (情報通信研究機構) • 5C2-3 リズムカルな随意運動が聴体性感覚同時性知覚に与える影響 田中 多恵子, 緒方 大樹, 三宅 美博 (東京工業大学) • 5C2-4 青色光曝露による知的集中向上効果の実験研究 宮崎 大輔, 上田 樹美, 川本 聡真, 竹川 和佳子, 石井 裕剛 下田 宏 (京都大学) 藪亀 順平, 内田 達清, 野口 公喜 (パナソニック・エコソリューションズ社) • 5C2-5 体性感覚誘発電位の作業負荷推定指標化の N-back タスクによる評価の報告 千葉 晃一 (上智大学), 横田 悠右, 成瀬 康 (情報通信研究機構) 矢入 郁子 (上智大学) 	<p>5D2 学習・教育支援 1 13:00 ~ 14:40 小田桐 良一 (園田学園女子大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 5D2-1 手遊びのハンドジェスチャによるロボットの操作プラットフォームの開発 辻 天斗, 牛田 啓太, 陳 キュウ (工学院大学) • 5D2-2 読み書き困難児の教科指導に対する支援機器利用を促す要因の検討 伊勢本 大 (愛媛大学 / 広島大学) 山下 祥代, 石丸 利恵, 八木 良広, 荻田 知則 (愛媛大学) • 5D2-3 実作業中の作業者行動データから習熟度を推定する Danni Wang, 小竹 康代, 中嶋 宏 (オムロン) • 5D2-4 振動と光を提示する装着型機器を用いた特別支援学級におけるコミュニケーション支援 大木 美加, 河原 圭佑, 蜂須 拓, 鈴木 健嗣 (筑波大学) • 5D2-5 英語学習に困難を示す生徒に対する綴り訓練ソフトの検討 高橋 秀太郎, 縄手 雅彦, 伊藤 史人 (島根大学) 三浦 睦美 (島根大学教育学部附属学校)



5日 講習会

A 会場 (3A203)	B 会場 (3A209)
講習会 2 15:00 ~ 16:30 「人を対象とする研究倫理の最新動向： 新倫理指針と人間工学倫理指針のポイント」	講習会 4 15:00 ~ 16:30 「Understand stats, know thy results: 統計モデルを用いた HCI 実験の解析事例紹介」

ワークショップ

A 会場 (3A203)	B 会場 (3A209)	C 会場 (3B202)
WS1 17:00 ~ 18:30 「人を対象とする研究倫理を考える」	WS2 17:00 ~ 18:30 「ワークプレイスの 知的生産性と創造性」	WS3 17:00 ~ 18:30 「オープンソースの考え方に倣う 実験環境を公開・共有する意義」



C 会場 (3B202)	D 会場 (3B203)
講習会 3 15:00 ~ 16:30 「モビリティとインフラのスマート化 (スマートシェアードスペース)」	講習会 1 15:00 ~ 16:30 「はじめての機械学習」

D 会場 (3B203)	E 会場 (3B208)
WS4 17:00 ~ 18:30 「ICT 農業とコミュニケーション」	WS5 17:00 ~ 18:30 「ハードウェアと戯れる ワークショップ」

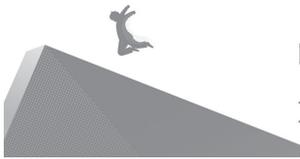


6日(午前) 一般発表

A会場 (3A203)	B会場 (3A209)
6A1 VR・AR・3D 1 9:00 ~ 10:20 則枝 真 (NEC)	6B1 コミュニケーション支援 2 9:00 ~ 10:20 山本 倫也 (関西学院大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 6A1-1 書架を事例とした3D-VR空間における情報探索性の検討 松本 啓太, 金子 一英, 加藤 淳一, 山岡 鉄也 (富士通デザイン) • 6A1-2 VRによる作業訓練の効果と身体負担への影響 風間 隼, 平内 和樹, 瀬尾 明彦 (首都大学東京) • 6A1-3 椎弓根スクリューを使用する頸椎後方除圧固定術のためのVR穿孔シミュレータの開発 及川 智也, 藤原 克哉, 齋藤 正親, 石川 慶紀, 水戸部 一孝 (秋田大学) • 6A1-4 Identification Method of Medicine Taking Action Using 3D Camera Tnew Chen Zhun, Masachika Saito, Katsuya Fujiwara Kazutaka Mitobe (Akita University) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6B1-1 電話着信時のユーザ状況に応じた音声・テキスト相互変換を用いたインタラクション支援 藤田 亮介, 渋谷 雄 (京都工芸繊維大学) • 6B1-2 デジタルサイネージを利用した異文化コミュニケーションの誘発手法 上田 樹美, 浦山 大輝, 下田 宏, 石井 裕剛 (京都大学) 望月 理香, 渡辺 昌洋 (NTT) • 6B1-3 異文化理解を促進するデジタルサイネージの情報提示方法の検討 久留島 隆史, 辻 雄太, 上田 樹美, 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学) 渡辺 昌洋, 望月 理香 (NTT) • 6B1-4 SNS書き込み時の表情分析を用いた似顔絵選択システムに関する研究 浅田 太郎 (京都府立大学), 矢野 結子 (奈良県信用保証協会) 吉富 康成, 田伏 正佳 (京都府立大学)
6A2 インタフェースデザイン 2 10:35 ~ 11:55 中洲 俊信 (東芝)	6B2 VR・AR・3D 2 10:35 ~ 11:55 藤田 欣也 (東京農工大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 6A2-1 マスクング耐性をもつ情報可聴化のための音の変調効果 水橋 知寛, 堀口 由貴男, 中西 弘明, 榎木 哲夫 (京都大学) • 6A2-2 マルチタスク環境における視覚情報との並行処理のための可聴化法の検討 手嶋 啓太, 堀口 由貴男, 中西 弘明, 榎木 哲夫 (京都大学) • 6A2-3 ウォークスルー映像中の物体を用いた擬人化エージェント自動生成システム 澤田 志織, 唄野 太一, 今井 倫太 (慶應義塾大学) • 6A2-4 警告音の定位に寄与する因子の分析 大澤 理恵, 白山 晋 (東京大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6B2-1 身体化認知を利用した太陽の日周運動学習のための基礎的調査 松岡 浩平, 葛岡 英明 (筑波大学) 久保田 義彦, 金井 司 (宇都宮大学), 鈴木 栄幸 (茨城大学) 加藤 浩 (放送大学) • 6B2-2 3次元再構成モデル作成のための拡張現実感を用いた環境撮影支援システムの開発 原園 友規, 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学) 香田 有哉 (日本原子力研究開発機構) • 6B2-3 ARヘッドマウントディスプレイを用いた打音検査支援システムの開発 萩原 恒樹, 山口 友之 (筑波大学) • 6B2-4 脳波を用いたVRホラーゲームの定量化に関する研究 金丸 竣樹, 後藤 隆太郎 (上智大学) 横田 悠右, 成瀬 康 (情報通信研究機構), 矢入 郁子 (上智大学)
昼休み 11:55 ~ 13:00	



C 会場 (3B202)	D 会場 (3B203)
6C1 ユーザ行動 1 9:00 ~ 10:20 塩瀬 隆之 (京都大学)	6D1 障がい者・高齢者支援 2 9:00 ~ 10:20 縄手 雅彦 (島根大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 6C1-1 オペレータの経験がレジリエンスに与える影響に関する基礎研究 澤田 大輔, 狩川 大輔 (東北大学) • 6C1-2 独居者宅内での行動遷移に基づく音声情報提示機会の推定に むけた実験的検討 小森 光月, 藤本 雄一郎 (東京農工大学) 徐 建鋒, 田坂 和之, 柳原 広昌 (KDDI 総合研究所) 藤田 欣也 (東京農工大学) • 6C1-3 床面振動解析による洗面台前生活行動識別の試み 園田 謙人, 小山 貴之, 平井 重行 (京都産業大学) • 6C1-4 利他的行動を促すアプリケーションの受容性とユーザー特性 安藤 昌也 (千葉工業大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6D1-1 視覚障がい者向けナビゲーションの要件抽出と評価 平尾 美佐, 三宅 明日香, 渡辺 昌洋, 宮原 伸二 (NTT) • 6D1-2 視覚障がい者向けナビゲーションにおける頭の中で道順や地図 をイメージしやすい案内文生成手法 三宅 明日香, 平尾 美佐, 渡辺 昌洋, 宮原 伸二 (NTT) • 6D1-3 基本図形を組み合わせた触図による触指動作の分析 村井 保之 (日本薬科大学), 巽 久行, 宮川 正弘 (筑波技術大学) • 6D1-4 弱視者の視認を向上させる色弁別領域の推測 巽 久行 (筑波技術大学), 村井 保之 (日本薬科大学) 中田 一紀, 小林 真, 関田 巖, 宮川 正弘 (筑波技術大学)
6C2 交通・安全 10:35 ~ 11:55 藤野 秀則 (福井県立大学)	6D2 ユーザ行動 2 10:35 ~ 11:55 飯塚 重善 (神奈川大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 6C2-1 運転中にシートを振動させ情報提示する装置の開発 ～進行方向の提示ため振動パターン評価～ 丸山 大岳, 山田 光穂 (東海大学) • 6C2-2 国産電動式トラクタヘッドの試作デザイン研究 西山 敏樹 (東京都市大学) • 6C2-3 ドライブレコーダー映像を使用した危険予知トレーニングツール における認定運転者と運転指導員の成績の比較 池田 利夫 (関西電力), 松井 裕子 (原子力安全システム研究所) • 6C2-4 鉄道運行指令員のコンピテンスの明確化 蔵谷 正人, 坂庭 純, 楠神 健 (東日本旅客鉄道) 小松原 明哲 (早稲田大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6D2-1 災害危険要因を用いた SpaceSyntax 理論に基づく防災地図に 関する研究 竹之内 要人, 長 幾朗 (早稲田大学) • 6D2-2 体動計測に基づく主観的睡眠感の推定手法の提案 武藤 剛, 秋田谷 優, 西村 歩, 折笠 愛矢 (文教大学) 武藤 ゆみ子 (東京工業大学) • 6D2-3 社会的ネットワーク分析における 2 次の隔たりに対する接続強度 の分析 天野 俊一, 小川 健一郎, 三宅 美博 (東京工業大学) • 6D2-4 地域見守り活動の計画支援の考え方とツールの検討 別府 拓也, 安藤 昌也, 岩井 一真 (千葉工業大学)
昼休み 11:55 ~ 13:00	



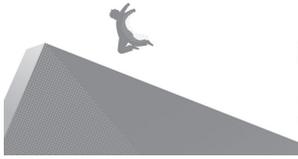
6日 対話発表・デモ

3A202・3A213・3A214		13:00 ~ 14:40
<p>• 01D 透過型 HMD を使用した授業用教材呈示システムの開発 黒田 勉 (香川大学)</p> <p>• 02D ウェアラブル NIRS を用いた脳活動計測装置の開発 柳澤 一機, 相原 啓人, 辻 健太, 網島 均 (日本大学)</p> <p>• 03D キャンセル</p> <p>• 04D 新しく開発したワイヤレス眼球運動測定装置を用いたスポーツ中の視線分析 猿樂 拓也, 小山 玲子, 小林 康祥, 望月 信哉 (東海大学) 松本 泰章, 李 軍 (竹井機器工業), 山田 光穂 (東海大学)</p> <p>• 05D 登山時の身体負荷軽減に向けたストック動作の調査 仲山 加奈子, 坂口 憲一 (テクノソリューション) 工藤 裕 (StrayCats Lab)</p> <p>• 06D 仮想影と生体情報を用いた身体能力拡張開発コンテンツ開発プロジェクト 桑名 祐弥, 小林 葉摘, 奥沢 紀祥, 原山 透湖, 増田 光咲 宮本 陸, 川合 康央 (文教大学)</p> <p>• 07D 介護支援のための体調評価システムの提案 黒澤 勇樹, 宮本 友紀, 上原 大和, 望月 信哉, 星野 祐子 山田 光穂 (東海大学)</p> <p>• 08D スマートウォッチを用いたロコモーショントレーニングゲーム 國分 三輝 (愛知淑徳大学)</p> <p>• 09D Slit: 角形画面と丸形画面のどちらにも対応できるスマートウォッチ向けの文字入力手法 秋田 光平, 田中 敏光, 佐川 雄二 (名城大学)</p> <p>• 10D サッカードと固視微動による疲労評価装置の開発 大友 隆秀, 望月 信哉, 星野 祐子, 山田 光穂 (東海大学)</p> <p>• 11D PUI の操作における手のゆらぎの計測と解析 征矢 一輝, 萩谷 優輝, 長谷川 智也, 山田 光宏 (茨城大学)</p> <p>• 12D スマートハンドルの提案と試作 貝原 将太, 赤池 英夫 (電気通信大学)</p>	<p>• 13D 時系列による景観の印象変化を再現する歴史的街並み景観シミュレーションシステムの開発 川合 康央, 小林 夏美, 吉田 周生, 松場 匠, 遠坂 彩香 吉川 宏樹, 清川 真純 (文教大学), 益岡 了 (岡山県立大学)</p> <p>• 14D 介護食の食感改善のための疑似咀嚼音生成手法に関する基礎検討 金子 秀和, 遠藤 博史, 井野 秀一 (産業技術総合研究所)</p> <p>• 15D 相模湾沿岸を対象とした津波避難行動シミュレーションシステムの提案と実装 吉田 周生, 松場 匠, 大野 つばさ, 太田 翔馬, 小林 夏美 鶴巢 凌哉, 海津 ゆりえ, 川合 康央 (文教大学)</p> <p>• 16D 身体情報によって恐怖演出が変化するホラーゲーム 鶴巢 凌哉, 川村 樹, 吉川 宏樹, 川合 康央 (文教大学)</p> <p>• 17D 音声及び筆跡を用いた無人航空機の操作システム 松場 匠, 吉田 周生, 川合 康央 (文教大学)</p> <p>• 18D 共生ロボットの試作と社会的役割の研究 長田 純一, 對馬 隆介, 山口 智治, 山岡 和彦, 山崎 綾 田丸 和寿 (NEC)</p> <p>• 19D 牽引力錯覚を用いた並進力・回転力提示装置による動作教示 田辺 健, 矢野 博明, 岩田 洋夫 (筑波大学)</p> <p>• 20D 話し手と聞き手を表す身体引き込みキャラクタを用いた発話伝達・蓄積表現の効果 桂木 章吾, 渡辺 富夫, 石井 裕 (岡山県立大学)</p> <p>• 21D 児童とデザイン可能なロボットとのインタラクションの持続性 佐藤 拓也, 大澤 博隆 (筑波大学)</p> <p>• 22D 聞き手の表情に合わせて発話を微視的に調整する〈トーキング・アリー〉 星野 翔平, 巽 将司, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学)</p> <p>• 23D おぼつかないロボット〈ベラット〉における弱さの開示手法について 佐々木 祐哉, 見目 海人, 香川 真人, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学)</p>	



3A202・3A213・3A214		13:00 ~ 14:40
<ul style="list-style-type: none">• 24D Virtual Reality を利用した日常生活の認知症スクリーニング 岡橋 さやか (京都大学), 澤田 砂織 (京都高度技術研究所) 関谷 真子, 坂本 憲太, 木下 彩栄 (京都大学)• 25D 瞳孔反応の周波数分析に基づく YES/NO 意思伝達手法の提案 武藤 ゆみ子, 金子 寛彦 (東京工業大学)• 26D Development of multi-agent system for werewolf game Bohao Wang, Hiroataka Osawa (University of Tsukuba)	<ul style="list-style-type: none">• 27D ハプティックアクチュエータを利用した対話型音階呈示システム 中田 一紀, 大西 淳児, 坂尻 正次 (筑波技術大学)• 28D 相補的学習支援システムにおけるグローブ型デバイスの開発 芦森 和茂, 五十嵐 洋 (東京電機大学)	

企業展示アピールタイム (3A204)	15:00 ~ 15:10
特別講演 (3A204) 「表現のためのインタフェース」 講師：宮下 芳明 (明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス (FMS) 学科 教授・学科長)	15:10 ~ 16:10
対話発表優秀プレゼンテーション賞発表 2019年シンポジウム予告 (3A204)	16:10 ~ 16:50
イブニングセッション (オークラフロンティアホテルつくば)	18:00 ~ 20:00



6日 対話発表・ポスター

3B204・3B210		13:00～14:40
<p>・29P 触覚と感覚表現語彙の照応関係の検討 岡本 明, 安田 輝男, 飯塚 潤一 (筑波技術大学)</p> <p>・30P 災害救助用小型アクチュエータの応答速度に関する一考察 細野 美奈子, 榊 浩司, 中村 優美子, 井野 秀一 (産業技術総合研究所)</p> <p>・31P プレゼンテーション映像における視覚的ノンバーバル情報が情報伝達に及ぼす影響 岩井 明日香, 辰己 晶洋, 関 和幸, 大久保 雅史 (同志社大学)</p> <p>・32P 動画推薦システムのための表情を用いた動画評価手法の提案 小川 直哉, 田村 俊, 糸川 萌, 大久保 雅史 (同志社大学)</p> <p>・33P 香り付き風触覚映像表示装置を用いた季節映像が体感温度に及ぼす影響 伴野 啓介, 松本 美緒, 伴野 明 (東海大学)</p> <p>・34P 独り言表現を用いたカーナビ音声案内方式への道路環境の影響の評価 山脇 拓哉, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学)</p> <p>・35P 楽曲聴取時のビートカウント能力評価システムの開発 南 和宏, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学)</p> <p>・36P 手指の触覚と音声による情報獲得を主とした地図のデザイン研究 ～元離宮・二条城の触地図開発から～ 竹浪 祐介, 比嘉 明子 (京都市産業技術研究所) 杉本 豊明 (大平印刷) 渡辺 昭一, 野々村 好三, 花田 和枝 (京都ライトハウス)</p> <p>・37P 業務効率化から新たな価値創造を目指す ～現場力からイノベーションへ～ 矢島 彩子, 小野 恵 (オージス総研)</p> <p>・38P 高齢者の運転評価と安全運転意識向上の検討 古川 知樹, 菅野 貴嗣, 山崎 初夫, 山田 宗男, 中野 倫明 (名城大学)</p> <p>・39P 主体的な観光行動時における観光スポットのナッジ情報提示システムデザインの検討 平石 雄規, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学)</p> <p>・40P 速度超過時に車両の速度表示の隠蔽が心理的速度抑制に与える効果の検証 小西 鉄馬, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学)</p>	<p>・41P 住民の行動変容を促すクラウドネイティブなプラットフォームの設計 塩屋 諒, 木村 公哉 (同志社大学), 塩津 ゆりか (愛知大学) タネヴ イヴァン, 下原 勝憲 (同志社大学)</p> <p>・42P 地図を読み慣れない児童の避難行動を支援する振動型避難方向指示システムの提案 安井 友徳, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学)</p> <p>・43P キャンセル</p> <p>・44P 嚙下筋活動計測におけるばらつき要因の検討 ～高精度な計測に向けて～ 大森 信行 (産業技術総合研究所 / 長野県工業技術総合センター) 澤野 友貴, 渡辺 誠一 (長野工業高等専門学校) 百瀬 英哉 (スキノス) 遠藤 博史, 近井 学, 井野 秀一 (産業技術総合研究所)</p> <p>・45P 人・機械共存環境における安全性と生産性の両立を実現する協調安全システム 福井 秀利, 藤谷 繁年, 清水 隆義, 前田 育男, 土肥 正男 藤田 俊弘 (IDEC)</p> <p>・46P なじみのある情報を提供する主体的観光支援システムの提案 植木 蒼馬, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学)</p> <p>・47P 目と口があるロボットは話しやすいのか 加藤 由香利, 新垣 紀子, 中村 國則 (成城大学) 西脇 裕作, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学)</p> <p>・48P メガネ型ウェアラブルデバイスを用いた二重課題時の認知負荷推定に関する研究 野口 翼, 遠藤 輝人, 三浦 直樹 (東北工業大学)</p> <p>・49P メガネ型ウェアラブルデバイスによる作業記憶課題時の集中状態の推定 遠藤 輝人, 菅 真由子, 三浦 直樹 (東北工業大学)</p> <p>・50P 日常生活に必要な高齢者の記憶力評価方法の検討 菅野 貴嗣, 古川 知樹, 山田 宗男, 中野 倫明 (名城大学)</p> <p>・51P 就職模擬面接による身体引き込み観客キャラクタを用いた実映像対話システムの評価 國田 栞, 石井 裕, 渡辺 富夫 (岡山県立大学)</p>	

3B204・3B210		13:00 ~ 14:40
<p>• 52P 大規模地震発生時のドライバーの意思決定傾向をドライブシミュレーターで調査する手法の検討 鳥田 拓也, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学)</p> <p>• 53P 患者中心型デザインワークショップ手法を用いたファシリテーションの現状 ~参加者との会話に着目して~ 西山 里利 (目白大学), 西山 敏樹 (東京都市大学) 塩瀬 隆之 (京都大学), 前田 ひとみ (熊本大学)</p> <p>• 54P 運動体と身体情報を用いた擬似ホログラムによる演出手法の提案 清川 真純, 伊藤 沙恵, 土屋 輝恵, 川合 康史 (文教大学)</p> <p>• 55P 発達障害者向け自動車教習所用学科教材の検討 宮田 圭介 (静岡文化芸術大学), 竹澤 愛美 (鹿沼自動車教習所)</p> <p>• 56P 生体反応計測を用いた摂食映像の臨場感評価 伴野 明, 高橋 良任, 伴野 啓介 (東海大学)</p> <p>• 57P Big Data 処理による ICT 教育活用の一例: 言語情報処理過程の解明に向けて 辻岡 圭子 (日本心理テスト研究所)</p> <p>• 58P タッチタイピング学習支援システムのための運指検出手法の提案 加納 大地, 大久保 雅史 (同志社大学)</p> <p>• 59P 対話的行為の連鎖性を利用した共同注意達成支援 藤原 貴裕, 川口 一画, 葛岡 英明 (筑波大学)</p>	<p>• 60P 運転支援システム利用初期の主観評価に影響する運転者の個人要因 高橋 昭彦, 佐藤 稔久, 北崎 智之 (産業技術総合研究所) 平尾 章成 (日産自動車)</p> <p>• 61P ウェアラブルな触覚フィードバックデバイスを用いた溶接作業の作業支援手法の基礎的検討 近井 学, 大山 潤爾 (産業技術総合研究所), 高松 誠一 (東京大学) 井野 秀一 (産業技術総合研究所)</p> <p>• 62P 筋電計測ウェアを用いたペダリング運動向け筋活動可視化システムの開発 井上 剛, 寺嶋 辰一郎 (大阪工業大学) 関原 隆, 久武 悟朗 (パナソニック)</p> <p>• 63P 車自身による取締り実現の可能性検討 安本 勝哉 (産業技術総合研究所)</p> <p>• 64P ロボット同士の会話を通じた情報提供が生活支援タスクの印象に与える影響 木本 充彦 (ATR/同志社大学), 飯尾 尊優 (筑波大学 / ATR) 塩見 昌裕 (ATR), 下原 勝憲 (同志社大学), 萩田 紀博 (ATR)</p> <p>• 65P タブレット型音響ペンによる筆移動呈示システム 中田 一紀, 小林 真 (筑波技術大学), 村井 保之 (日本薬科大学) 関田 巖, 巽 久行 (筑波技術大学)</p> <p>• 66P 加速度を用いた歩行様式 Z2C-Walk の促進システムの開発 茅野 宏紀, 下寶 賢人, 大井 翔, 藤本 雅大, 松村 耕平 野間 春生, 伊坂 忠夫 (立命館大学)</p>	

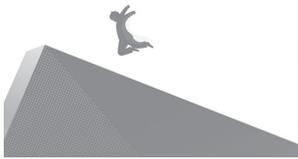
企業展示アピールタイム (3A204)	15:00 ~ 15:10
特別講演 (3A204) 「表現のためのインタフェース」 講師: 宮下 芳明 (明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス (FMS) 学科 教授・学科長)	15:10 ~ 16:10
対話発表優秀プレゼンテーション賞発表 2019年シンポジウム予告 (3A204)	16:10 ~ 16:50
イブニングセッション (オークラフロンティアホテルつくば)	18:00 ~ 20:00



7日(午前) 一般発表

A会場 (3A203)	B会場 (3A209)
<p>7A1 入出力デバイス 9:00 ~ 9:40 郷 健太郎 (山梨大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7A1-1 食料品の重量を力覚提示することによる遠隔からの買い物の 楽しさ向上支援 宇谷 龍馬, 渋谷 雄 (京都工芸繊維大学) ・ 7A1-2 モデルベース視線計測手法における特徴点のずれが眼球の光軸 の推定値に及ぼす影響 満永 彰吾, 丸山 拓朗, 廣江 葵, 長松 隆 (神戸大学) ・ 7A1-3 キャンセル ・ 7A1-4 キャンセル 	<p>7B1 医療・リハビリ 1 9:00 ~ 10:20 島田 茂伸 (東京都立産業技術研究センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7B1-1 慣性センサーを用いた Alzheimer 型認知症患者の歩行特徴の 評価と他疾患との比較 喜古 勇 (玉川病院) 大野 優美, 堀 宏有, 貴志 崇之, 廣部 祐樹 (東京工業大学) 和田 義明 (玉川病院), 大良 宏樹, 三宅 美博 (東京工業大学) ・ 7B1-2 ウェアラブル NIRS を用いたストレス診断システムの開発 相原 啓人, 柳澤 一機, 綱島 均 (日本大学) ・ 7B1-3 パーキンソン病患者の歩行リハビリのためのリズムアシスト ロボット 貴志 崇之, 緒方 大樹, 繁山 稜 (東京工業大学) 陳 佑佳 (東海大学), 中山 正之, 関 雅俊 (WALK-MATE LAB) 野川 茂 (東海大学), 三宅 美博 (東京工業大学) ・ 7B1-4 小型精密自動ステージを用いた足底皮膚の感覚閾値特性の計測 野村 理博 (筑波大学 / 産業技術総合研究所) 近井 学 (産業技術総合研究所) 井野 秀一 (産業技術総合研究所 / 筑波大学)
<p>7A2 AI 10:35 ~ 11:15 高橋 信 (東北大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7A2-1 弱教師あり学習による加速度データと位置情報を用いた路面 状態の評価 渡邊 拓実, 高橋 宏紀 (上智大学) 岩澤 有祐, 松尾 豊 (東京大学), 矢入 郁子 (上智大学) ・ 7A2-2 キャンセル ・ 7A2-3 チャット会話における理解度と問の分析 豊永 哲士 (慶應義塾大学) 大澤 正彦 (慶應義塾大学 / 日本学術振興会) 今井 倫太 (慶應義塾大学) 	<p>7B2 生理・心理 2 10:35 ~ 11:55 岩木 直 (産業技術総合研究所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7B2-1 瞳孔径と心拍変動による知的集中状態の推定 木村 覚, 國政 秀太郎, 日下部 曜, 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学) ・ 7B2-2 ロボットに対する印象と脳活動の関係性に関する研究 森 拓也, 安野 修平, 柳澤 一機, 綱島 均 (日本大学) ・ 7B2-3 高齢者、若年者の快適性へ与える室内騒音の周波数選択的削減 の影響 山下 剛史, 矢野 学, 伊佐 孝彦 (村田製作所) 根本 孝明 (住友林業), 吉富 康成, 加藤 亮太 (京都府立大学) 日下 菜穂子 (同志社女子大学) ・ 7B2-4 季節ごとによるおもてなしの香りのデザインに関する一検討 中川 晴美 (京都工芸繊維大学), 岩元 美由紀 (京都大学) 桑原 教彰 (京都工芸繊維大学)
<p>昼休み 11:55 ~ 13:00</p>	

C会場 (3B202)	D会場 (3B203)
<p>7C1 生理・心理 1 9:00 ~ 10:00 石井 裕 (岡山県立大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 7C1-1 スマートスピーカーを介した感謝の効果に関する調査 西野 沙貴, 古川 広一, 矢入 郁子 (上智大学) • 7C1-2 知的集中と心理特性・精神状態との関連に関する実験研究 竹川 和佳子, 上田 樹美, 緒方 省吾, 下田 宏, 石井 裕剛 (京都大学) 大林 史明 (パナソニック) • 7C1-3 キャンセル • 7C1-4 タイムプレッシャー下でのヒューマンエラーの発生機構に関する実験的研究 小川 剛史, 池内 航, 高橋 信 (東北大学) 	<p>7D1 障がい者・高齢者支援 3 9:00 ~ 10:00 桑原 教彰 (京都工芸繊維大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 7D1-1 コミュニケーションにおいて「見つめる」ことの重要性の検証 岩元 美由紀, 中澤 篤志 (京都大学) • 7D1-2 身体活動の持続性に着目した認知機能低下判定への試み 西山 高史, 山西 宏平, 佐藤 佳州, 松村 吉浩, 角 貞幸 (パナソニック) 古瀬 裕次郎, 檜垣 靖樹 (福岡大学) • 7D1-3 重度・重複障害のある子ども達を育てる IoT インタフェース 巖淵 守 (早稲田大学) 中邑 賢龍, 赤松 裕美, 武長 龍樹 (東京大学) 青木 高光 (長野県稲荷山養護学校) 佐野 将大, 谷口 公彦 (香川県立高松養護学校) • 7D1-4 キャンセル
<p>7C2 医療・リハビリ 2 10:35 ~ 11:55 布川 清彦 (東京国際大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 7C2-1 バイオニックヒューマノイドの開発と評価 山下 樹里 (産業技術総合研究所), 原田 香奈子 (東京大学) 太田 信 (東北大学), 鎮西 清行 (産業技術総合研究所) • 7C2-2 Spatio-Temporal Gait Parameter Estimation Using Inertial Sensors Attached to Ankle Yufeng Mao, Yumi Ono, Hiroki Ora, Taiki Ogata Yoshihiro Miyake (Tokyo Institute of Technology) • 7C2-3 優しい介護インタラクションの計量的・脳科学的解明 中澤 篤志 (京都大学) • 7C2-4 BCI 文字入力特性に基づく注意集中の低下の分類 諸岡 遼, 田中 久弥 (工学院大学) 馬原 孝彦, 都河 明人, 羽生 春夫 (東京医科大学) 	<p>7D2 学習・教育支援 2 10:35 ~ 11:55 辻野 嘉宏 (京都工芸繊維大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 7D2-1 手書き文字練習における指・ペン間での書写技能向上性に関する調査 菅野 一平, 新納 真次郎 (明治大学) 久保田 夏美 (ユーザーローカル) 中村 聡史, 鈴木 正明 (明治大学) • 7D2-2 ラグビー高校日本代表チームで使用された疾走に関する集団語の成立過程の考察 山田 雅敏 (常葉大学), 里 大輔 (SATO SPEED Inc.) 坂本 勝信, 砂子 岳彦 (常葉大学), 竹内 勇剛 (静岡大学) • 7D2-3 ロボットを利用した未就学児用の教育コンテンツ開発 Zhang Hongyang, 桑原 教彰 (京都工芸繊維大学) • 7D2-4 VR と音楽刺激の融合によるリラクセス効果の検討 金平 蓮 (藤田保健衛生大学), 鈴木 真史 (名古屋大学) 伊藤 康宏 (藤田保健衛生大学), 藤本 英雄 (名古屋工業大学)
<p>昼休み 11:55 ~ 13:00</p>	



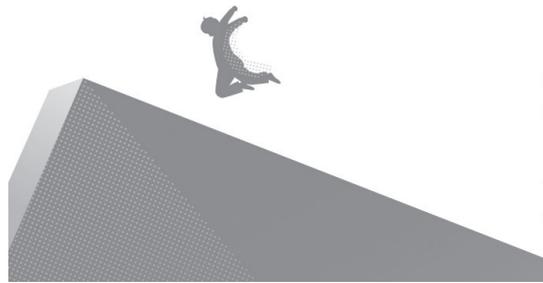
7日(午後) 一般発表

特別セッション 「トップカンファレンス 採択を目指す研究者のために」(A会場 3A203)		13:00 ~ 14:00
A会場 (3A203)	B会場 (3A209)	
7A3 ロボットエージェント 14:20 ~ 15:40 渡辺 富夫 (岡山県立大学)	7B3 コミュニケーション支援 3 14:20 ~ 15:40 三宅 美博 (東京工業大学)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 7A3-1 なぜあのロボットは愛想がないのか - ロボットの社会的随伴性について - 川合 喜己, 石川 将輝, 香川 真人, 長谷川 孔明, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) ・ 7A3-2 動力学モデルを用いたロボットの視線方向の制御 吉岡 駿, 大澤 正彦(慶應義塾大学), 篠沢 一彦(ATR) 今井 倫太(慶應義塾大学) ・ 7A3-3 質問応答チャットボットによって生成された文に対する印象分析 森 愛理花, 竹内 勇剛(静岡大学) ・ 7A3-4 利用者の性格を考慮した応答を行う高齢者向け雑談対話エージェント 矢島 敬士, 武田 風太(東京電機大学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7B3-1 Investigating how amplitude and frequency of human voices affect dominance Tzu-Yang Wang, Ikkaku Kawaguchi, Hideaki Kuzuoka Mai Otsuki (University of Tsukuba) ・ 7B3-2 スマートフォンで検出された作業遷移とPC操作情報に基づく作業者の割り込み拒否度推定 小室 喬平, 藤本 雄一郎, 藤田 欣也(東京農工大学) ・ 7B3-3 イルカとのコミュニケーションにおける情報端末の複数画面識別 醍醐 博明(ソニー), 小木 哲朗, 栗田 礼(慶應義塾大学) 醍醐 奈生子, 尾高 康恵, 尾高 理人(デザインドメインジャパン) 羽田 秀人, 大下 勲(新江ノ島水族館) ・ 7B3-4 オノマトペがコミュニケーションにおける情報の伝達性に及ぼす影響 高木 龍平, 大久保 雅史(同志社大学) 	
クロージング 企業スタンプラリー抽選会 (3B210)		16:00 ~ 16:20

特別セッション 13:00 ~ 14:00
「トップカンファレンス 採択を目指す研究者のために」 (A会場 3A203)

C会場 (3B202)	D会場 (3B203)
<p>7C3 身体的インタラクション 14:20 ~ 15:40 和氣 早苗 (同志社女子大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7C3-1 知識とスキルに注目した参加者全員の貢献を促す協調問題解決場面のデザイン方法の検討 遠山 紗矢香, Vaya Viora Novitasari, 竹内 勇剛 (静岡大学) ・ 7C3-2 身体性を重視したVR空間操作コマンドとしてのアイジャスチャの試作と考察 内村 裕也 (立命館大学), 大槻 麻衣 (筑波大学) 柴田 史久, 木村 朝子 (立命館大学) ・ 7C3-3 VRヘッドセットを用いた場の生成による挙手コミュニケーション解析システムの開発 南出 健, 福森 聡 (関西学院大学), 青柳 西蔵 (東洋大学) 山本 倫也 (関西学院大学) ・ 7C3-4 聞き手キャラクターと発話単語オブジェクトを用いた身体引き込み発話促進システムの開発 窪田 正勝, 渡辺 富夫, 石井 裕 (岡山県立大学) 	<p>7D3 住まい・生活 14:20 ~ 15:40 渋谷 雄 (京都工芸繊維大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7D3-1 360°揺れる椅子を使用したオフィス業務の評価 中村 啓佑, 田中 知里, 川島 稜平, 佐藤 秀磨, 杉田 琢郎 河合 隆史, 三家 礼子 (早稲田大学) ・ 7D3-2 360°揺れる椅子を使用したデスク作業における評価 ～身体的影響に着目して～ 川島 稜平, 中村 啓佑, 佐藤 秀磨, 杉田 琢郎, 田中 知里 (早稲田大学) 野崎 真奈美 (順天堂大学), 三家 礼子, 河合 隆史 (早稲田大学) ・ 7D3-3 摩擦力の異なるフットカバー素材とストック素材を着用した際の歩行の特徴差に関する基礎検討 中村 ふみ子, 才脇 直樹 (奈良女子大学) ・ 7D3-4 IoT焙煎機を用いた珈琲焙煎サービスからのライフスタイル分析 寺野 真明, 木村 文香 (パナソニック) 小澤 順 (産業技術総合研究所) 西川 由理 (パナソニック / 産業技術総合研究所) 竹中 毅 (産業技術総合研究所) 大浦 楓子 (産業技術総合研究所 / 首都大学東京)

クロージング 企業スタンプラリー抽選会 (3B210) 16:00 ~ 16:20



●会場

筑波大学 筑波キャンパス（第三エリア 3A 棟・3B 棟）

住所：茨城県つくば市天王台1丁目1-1

※受付は3B棟となります。

●アクセス

最寄り駅：つくばエクスプレス秋葉原駅から快速45分、

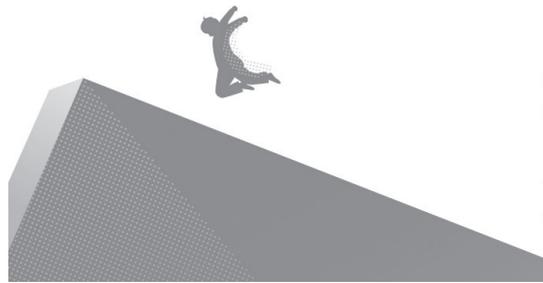
「つくば駅」下車+バス「**第3エリア前**」下車

つくばエクスプレス(TX)「つくば駅」下車後は、つくばセンターバス乗り場からバスにて「**第3エリア前**」までお越しください。

※HI2018では駐車場をご用意しておりません。お車でお越しの場合は、つくばエクスプレス(TX)「つくば駅」周辺の有料駐車場をご利用ください。

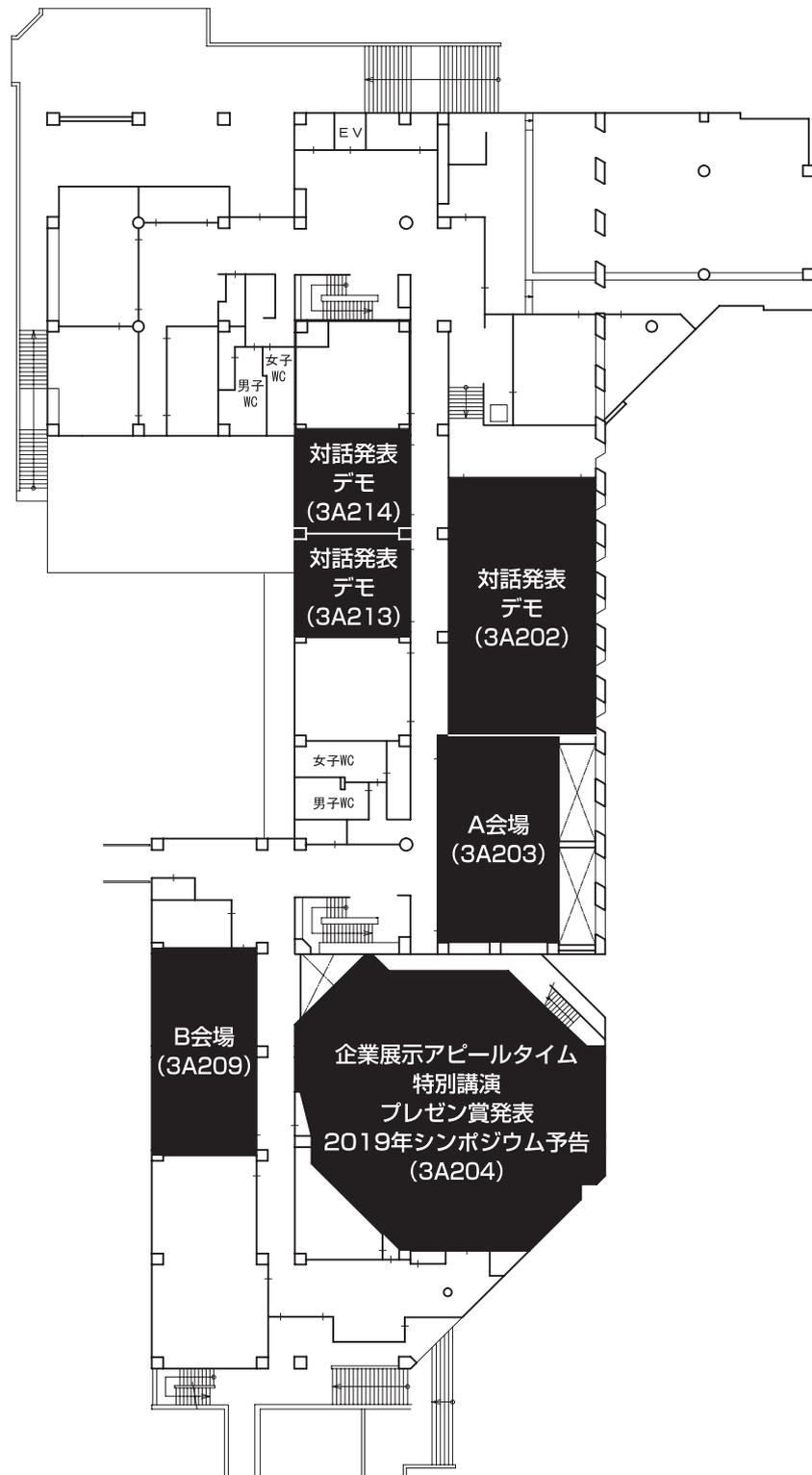
●キャンパスマップ

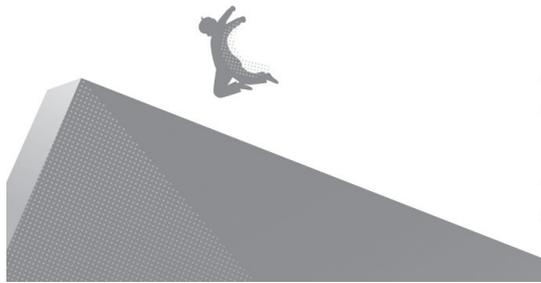




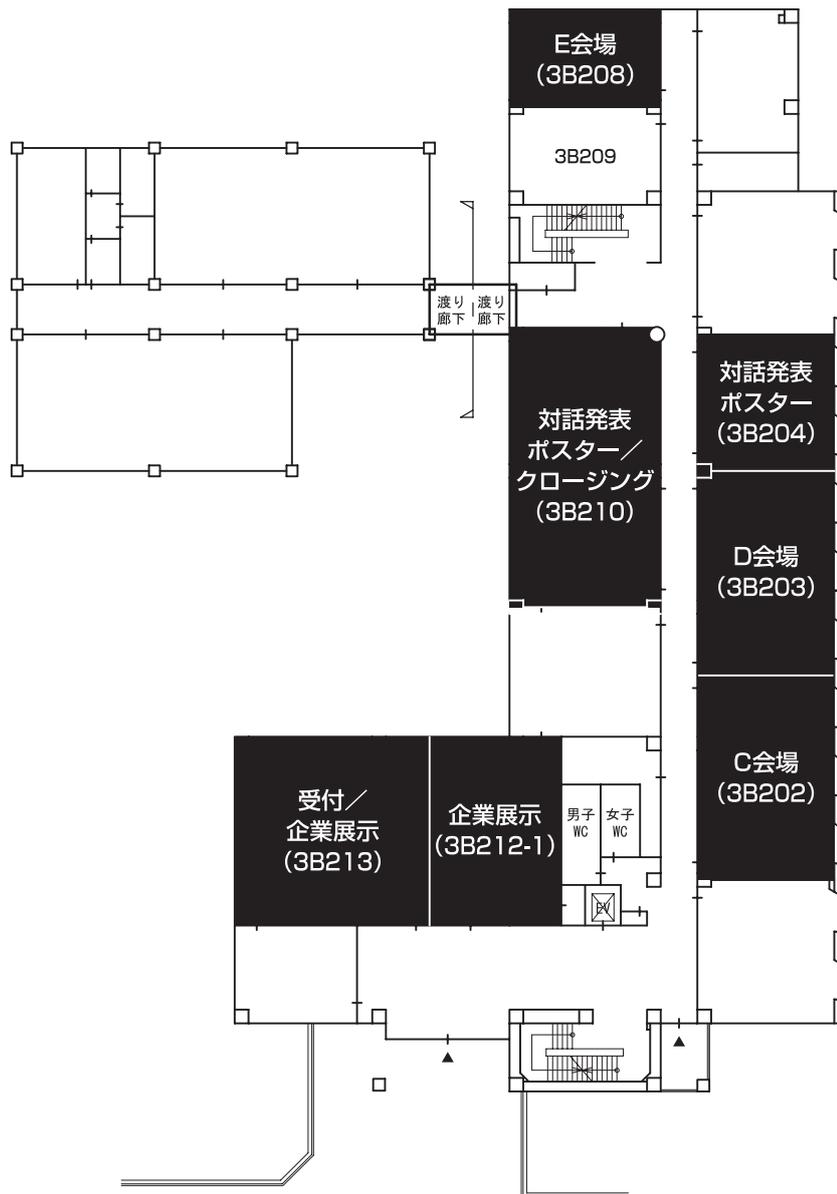
●会場図

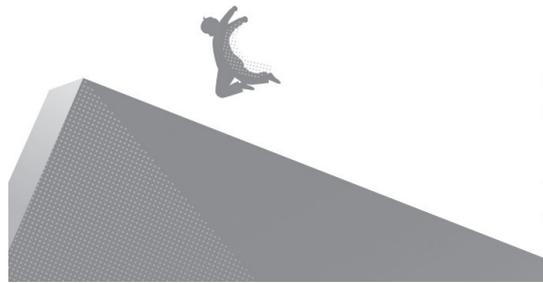
3A棟 (2階)





●会場図
3B棟 (2階)





ヒューマンインタフェースシンポジウム
**Human
Interface
2018**
TRANSBORDER

●参加費と参加申込

■参加費

	事前価格 (8/29(水)迄) (3) ※		当日価格 (8/30(木)以降) ※		Evening Session
	《発表と聴講》	《聴講》	《発表と聴講》	《聴講》	
学会員 協賛会員	13,000- (1)(2)	13,000- (2)	15,000- (1)(2)	15,000- (2)	5,000-
非会員	21,000- (1)(2)	21,000- (2)	24,000- (1)(2)	24,000- (2)	5,000-
学生学会員 協賛会員	13,000- (1)(2)	2,000- (2)	15,000- (1)(2)	2,000- (2)	5,000-
非会員学生	21,000- (1)(2)	9,000- (2)	24,000- (1)(2)	10,000- (2)	5,000-
資料のみ	-	8,000- (4)	-	8,000- (4)	-

(1)複数発表の場合、件数分の参加費が必要です。

(2)参加費には、講習会・ワークショップ・DVD論文集代金が含まれております。

(3)事前価格は2018年8月29日(水)にお振り込み完了の方に限り適用となります。

※8月29日(水)午後3時以降のお振込みは8月30日(木)のお振込みとなりますのでご注意ください。

詳細は各金融機関へご確認ください。

(4)後日送付の場合は別途送料が必要となります。

※筑波大学および筑波技術大学在学の学生については、聴講のみ学生学会員価格での参加が可能になります。

※Evening Sessionは9月6日(木)開催。(会場：オークラフロンティアホテルつくば)

イブニングセッション申込後のキャンセルについては返金は行えませんのでご注意ください。

■申込方法

- ・ URL <https://www.his.gr.jp/sympo/his2018.html> からオンライン申込できます。
- ・ 参加申込書を下記の申込先へ FAX または郵送でお送り下さい。

■参加費の振込先

郵便振替：

口座番号：00940-6-136424

口座名：特定非営利活動法人ヒューマンインタフェース学会

銀行振込：三菱 UFJ 銀行 西七条支店 普通預金

口座番号：3566234

口座名：特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会

■お問合せ先

特定非営利活動法人

ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町93番地

京都市サーチパーク6号館3階

TEL：075-315-8475 FAX：075-326-1332

E-mail：his-symp@his.gr.jp

URL：https://www.his.gr.jp/sympo/his2018.html

Human Interface 2019 KYOTO

ヒューマンインタフェースシンポジウム
2019

開催予告

2019年9月2日(月)～5日(木)
同志社大学

●発表形式と内容

一般発表(発表15分+討論)(予定)

新しい研究成果の報告や提案など。英語による発表も一般発表として受け付けます。

対話発表

実機や実演を取り込んだ対話形式による発表です。

参加者の投票によるプレゼンテーション賞の表彰を予定しております。

企業展示

ヒューマンインタフェース関連の製品や商品の紹介を歓迎します。

●発表申込

2019年6月17日(月)(予定)までにお申し込み下さい。

申込は申込書を事務局から取り寄せるか、学会ホームページ
(<http://www.his.gr.jp/>) をご覧下さい。

●問合せ先

特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地

京都市サーチパーク6号館3階

TEL: 075-315-8475 FAX: 075-326-1332

E-mail: his-symp@his.gr.jp

URL: <http://www.his.gr.jp/>